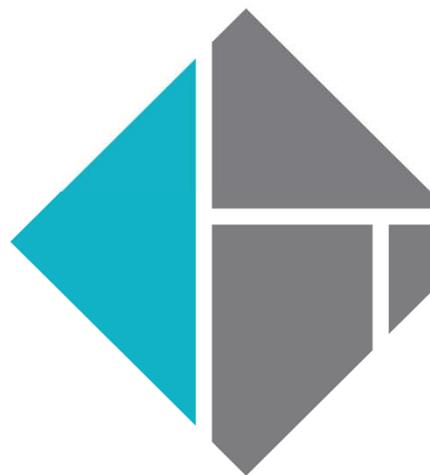


2016年3月期第1四半期 決算説明資料

2015.7.30

ITホールディングス株式会社

Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.



(2015年7月30日開催 アナリスト向け決算説明電話会議 プレゼンテーション要旨)

・ITホールディングスの柳井です。よろしくお願いいたします。

2016年3月期第1四半期 業績概要

2016年3月期 業績見通し

参考資料

- ・それでは、本日15:30に発表いたしました、当社の第1四半期決算の内容につきまして、決算説明資料を使って説明させていただきます。

2016年3月期第1四半期 業績ハイライト

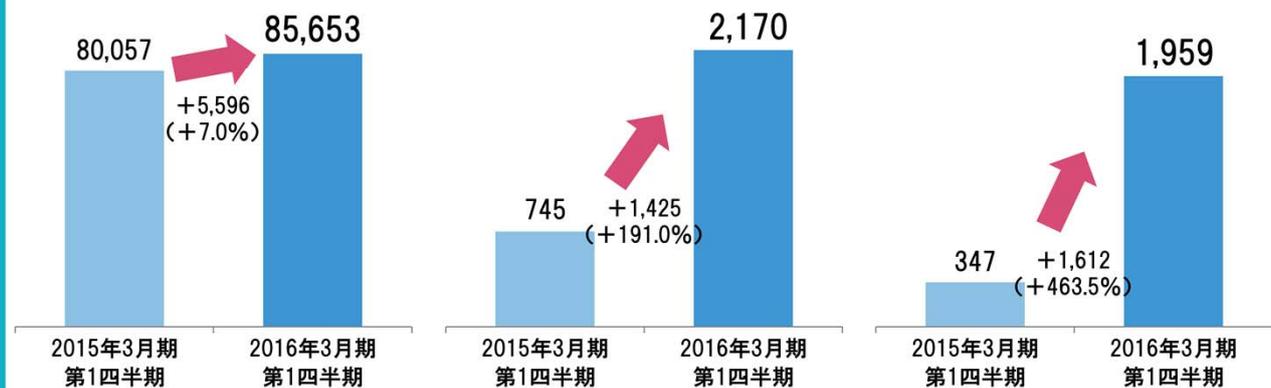
(単位:百万円)

- ・売上高は好調な事業環境を背景に前年同期比増収。
- ・利益面は増収効果等が牽引し、前年同期比増益。

売上高 85,653百万円
前年同期比 +5,596百万円(+7.0%)

営業利益 2,170百万円
前年同期比 +1,425百万円(+191.0%)

**親会社株主に帰属
する四半期純利益 1,959百万円**
前年同期比 +1,612百万円(+463.5%)



IT投資が強まりを見せる分野において顧客ニーズを的確に捉えたこと等が牽引し、前年同期比増収。

増収効果や不採算案件の減少等が、一部既存先におけるIT投資抑制や取引規模縮小の影響等を吸収し、前年同期比増益。

営業利益の増加等に伴い、前年同期比増益。

Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

2

- ・まず、第1四半期の業績は増収増益となりました。当期の出足は好調だったと言える内容だと思えます。
- ・売上高は、好調な事業環境を背景に856億円となり、前年同期比で56億円・7.0%の増収となりました。
- ・利益面は、営業利益が21.7億円、親会社株主に帰属する四半期純利益が19.5億円となり、前年同期に比べて増加しました。増益の要因は増収効果が大きく、加えて不採算案件の減少等も寄与しています。一部既存先におけるIT投資抑制等のマイナスの要因もありましたが、これらをカバーして増益となりました。
- ・なお、当第1四半期における不採算案件は前年同期から2億円減少しました。また、現在遂行中の2つの大型開発案件は順調に推移しています。

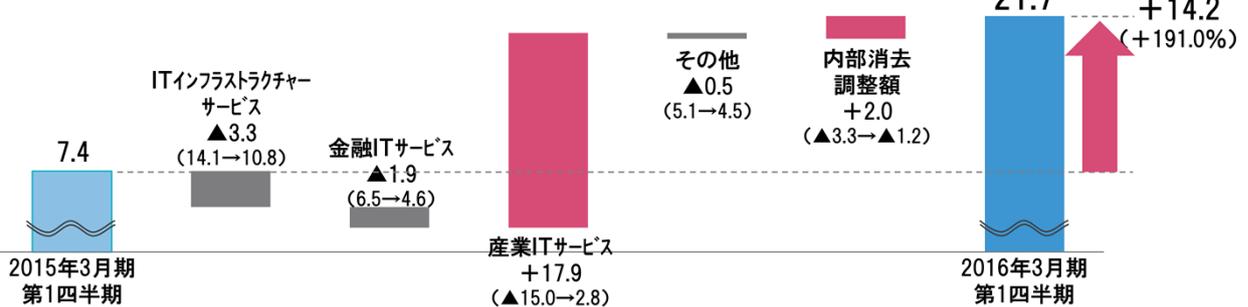
2016年3月期第1四半期 売上高・営業利益増減分析

(単位:億円)

<売上高>



<営業利益>



Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

3

- ・セグメント別の状況について、売上高は主要3セグメントの全てで前年同期比増収となりました。特に産業ITサービスが大きく伸びました。
- ・営業利益については、ITインフラストラクチャーサービスは既存先の取引規模縮小や公共系BPO案件における収益悪化により苦戦し、前年同期比で3.3億円の減益となりました。また、金融ITサービスも既存大口先の投資抑制の影響が大きく、前年同期比で1.9億円の減益となりました。但し、特定顧客の動向といった個別要因によるものであると考えており、事業環境全体は悪い状況にはないと考えています。
- ・一方、産業ITサービスは、電力システム改革に伴ってIT投資が活発化するエネルギー系の顧客向けのビジネスが好調であり、不採算案件の抑制もあいまって、前年同期比17.9億円の増益となりました。

2016年3月期第1四半期 主要セグメント別損益状況

(単位:百万円)

<ITインフラストラクチャーサービス>

売上高 29,361百万円
前年同期比 +1,230百万円(+4.4%)



営業利益 1,087百万円
前年同期比 ▲331百万円(▲23.3%)



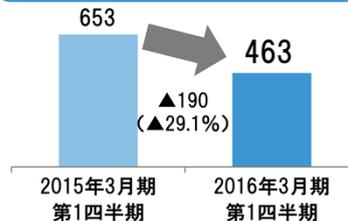
データセンター事業及びBPO事業とも安定的に推移し、前年同期比増収となったが、一部既存先における取引規模縮小や収益性低下の影響等により、前年同期比減益。

<金融ITサービス>

売上高 17,049百万円
前年同期比 +536百万円(+3.2%)



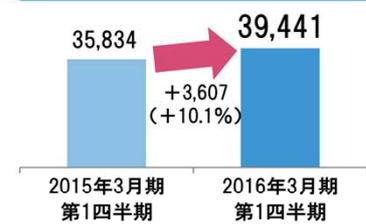
営業利益 463百万円
前年同期比 ▲190百万円(▲29.1%)



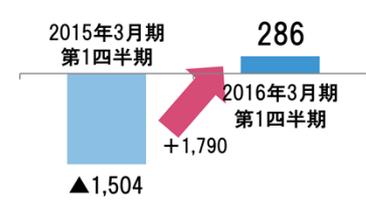
クレジットカードや銀行等、顧客のIT投資拡大の動き等により前年同期比増収となったが、一部既存先におけるIT投資抑制の影響が大きく、前年同期比減益。

<産業ITサービス>

売上高 39,441百万円
前年同期比 +3,607百万円(+10.1%)



営業利益 286百万円
前年同期比 +1,790百万円

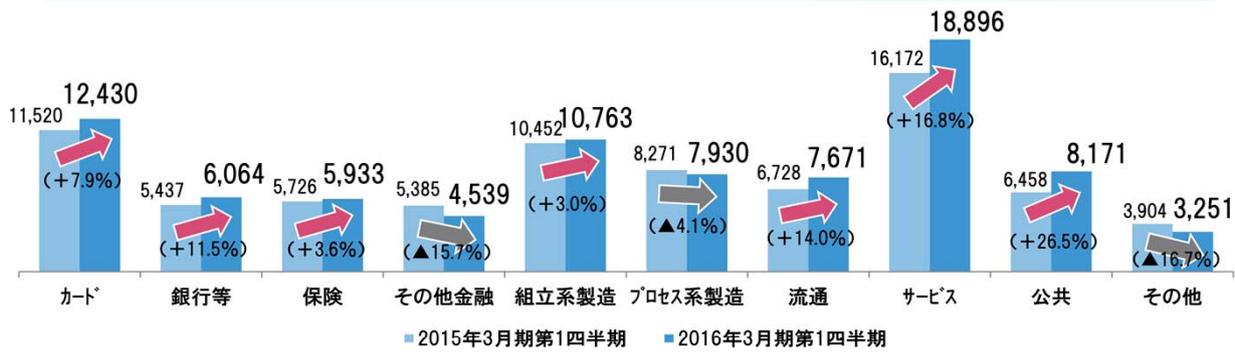


電力システム改革に伴ってIT投資が活発化するエネルギー系を中心に好調に推移し、前年同期比増収。また、増収効果や不採算案件の減少等により、前年同期比増益。

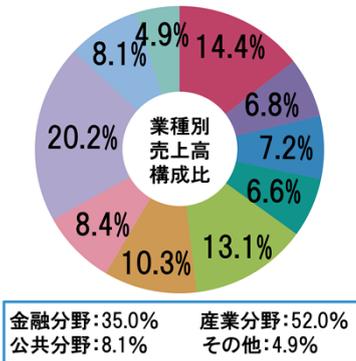
(説明省略)

2016年3月期第1四半期 業種別売上高

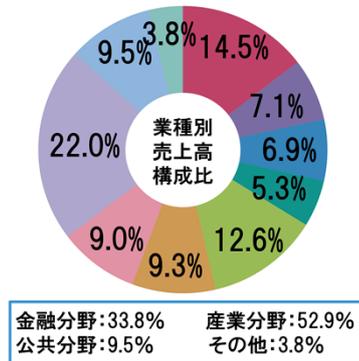
(単位:百万円)



<2015年3月期第1四半期>



<2016年3月期第1四半期>



Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

5

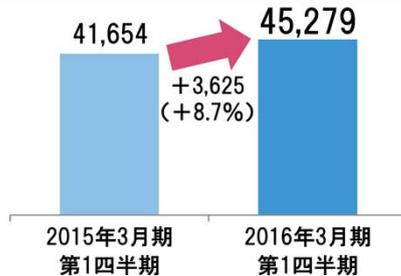
- ・業種別売上高の状況については、ほぼ全業種で前年同期比増収になっているのがわかりただけかと思えます。
- ・カード等の金融系は、新しい商品開発やそれを支える基盤の増強、マイナンバー対応や金融一体課税対応等の引き合いをいただいています。
- ・産業系については、エネルギー系が好調なほか、製造業については、グループ内の受発注システムやグローバルSCM構築の案件等。伸びの大きいサービス業については、比較的小口の案件が多く積み重なったものですが、その中でもデジタルマーケティングやIoT関連の案件が始められています。公共系の伸びは、前年度に受注した大型案件が寄与しています。

2016年3月期第1四半期 受注状況

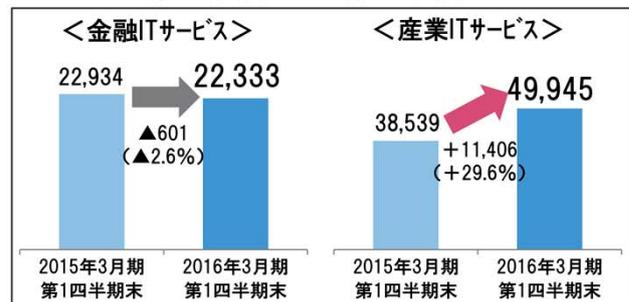
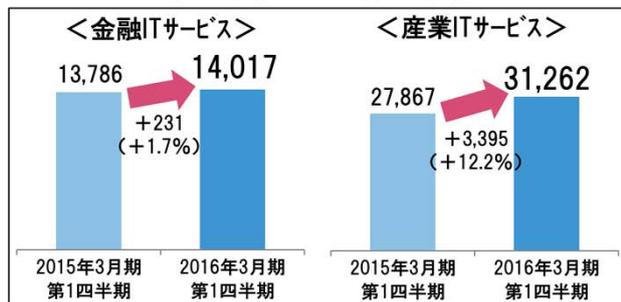
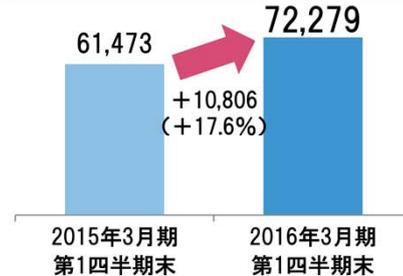
(単位:百万円)

- ・当期受注高はIT投資が活発化するエネルギー系が牽引し、前年同期比増加。
- ・期末受注残は前期に獲得した公共系大型案件分の寄与もあり、前年同期比増加。

当期受注高 45,279百万円
前年同期比 +3,625百万円(+8.7%)



期末受注残 72,279百万円
前年同期比 +10,806百万円(+17.6%)



Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

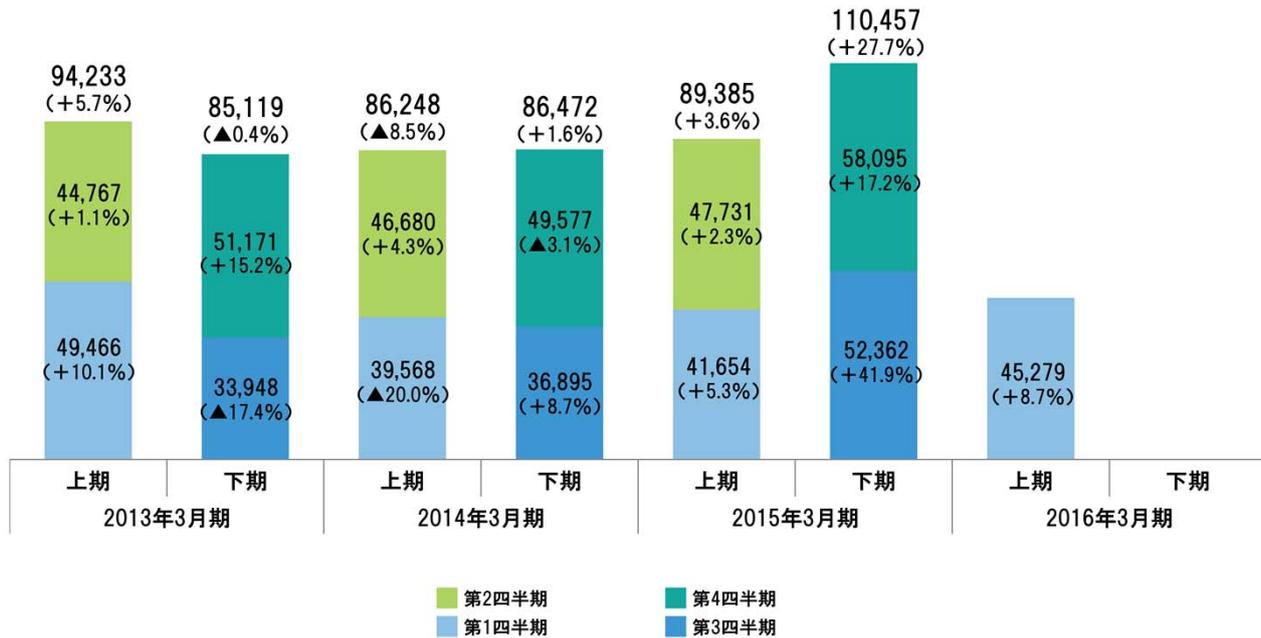
当期受注高・期末受注残・当期売上高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。

6

- ・次に、第1四半期の受注状況です。
- ・当期受注高は、事業環境が良好な中で産業ITサービスを中心に着実な積み上げができたことから、前年同期比8.7%増の452億円となりました。産業ITサービスは33.9億円・12.2%の伸びとなりました。
- ・期末受注残は、722億円となり、大幅増加となりました。この増加には、前期に受注した公共系大型案件が大きく寄与しています。
- ・以上が、第1四半期についての説明となります。

受注高の推移

(単位:百万円)

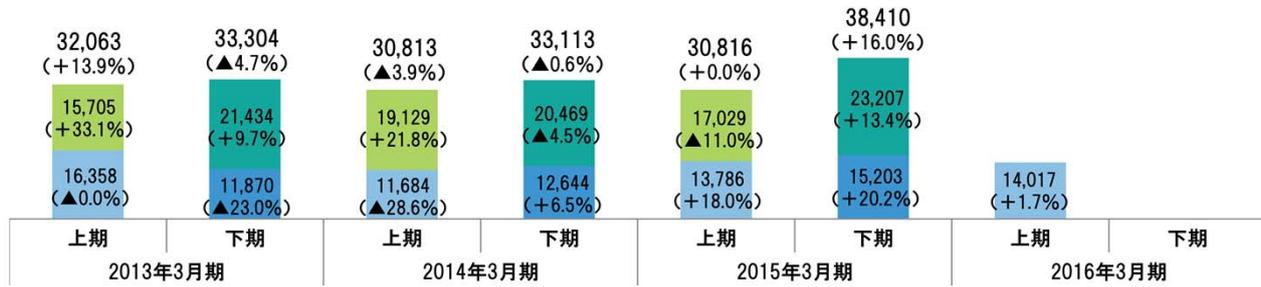


(説明省略)

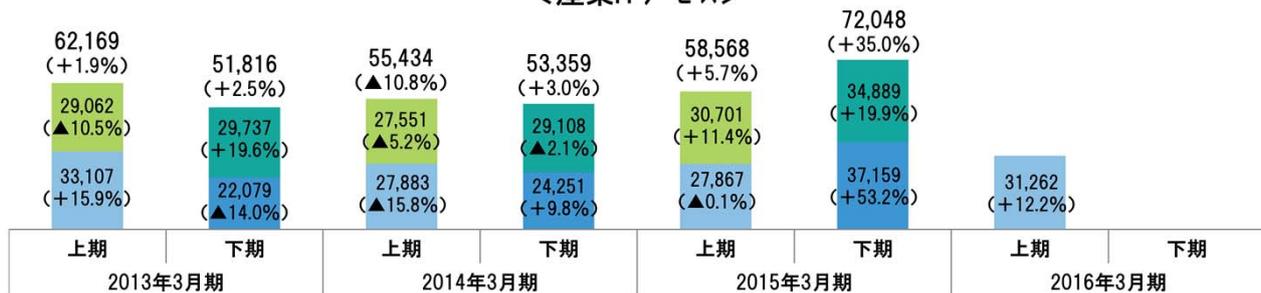
受注高の推移

(単位:百万円)

<金融ITサービス>



<産業ITサービス>



■ 第2四半期 ■ 第4四半期
■ 第1四半期 ■ 第3四半期

(説明省略)

2016年3月期第1四半期 業績概要

2016年3月期 業績見通し

参考資料

・続いて、見通しについて説明いたします。

2016年3月期 業績予想ハイライト

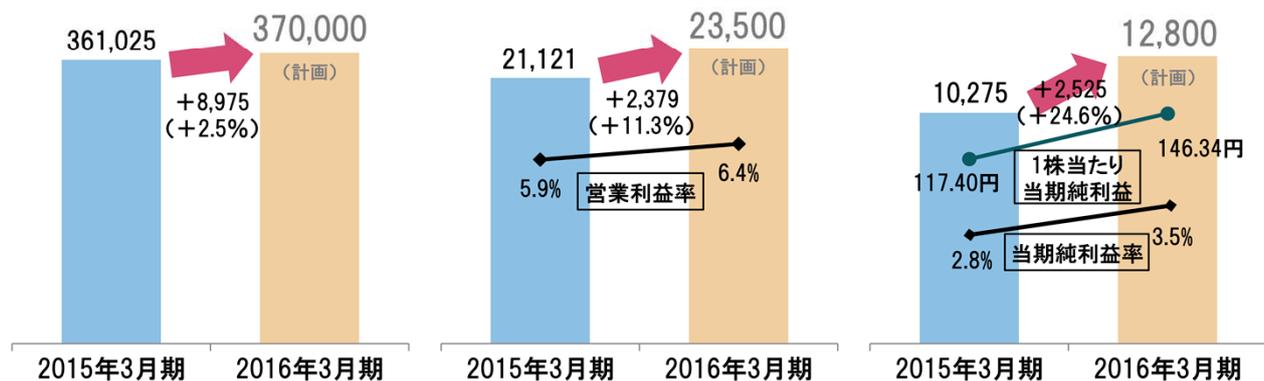
(単位:百万円)

- ・引き続き堅調な事業環境の中で増収増益を計画。
 - ・事業拡大とともに生産性向上・不採算案件抑制等を推進。
- ⇒概ね計画に沿って進捗していることから、期初計画値の変更はなし。

売上高 370,000百万円
前期比 +8,975百万円(+2.5%)

営業利益 23,500百万円
前期比 +2,379百万円(+11.3%)

**親会社株主に帰属
する当期純利益 12,800百万円**
前期比 +2,525百万円(+24.6%)



金融ITサービス及び産業ITサービスを中心として、顧客のIT投資ニーズへの的確な対応による事業拡大を図り、前期比増収を見込む。

増収効果、生産性向上や不採算案件の抑制、のれん償却費の減少等により、増益を見込む。

営業利益の増加や特別損失の減少、少数株主利益の減少等により、前期比増益を見込む。

Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

10

・通期業績見通しですが、期初計画からの変更はありません。売上高は前期比2.5%増の3,700億円、営業利益は前期比11.3%増の235億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比24.6%増の128億円の増収増益の計画となっており、第1四半期の実績や引き合いの状況を鑑み、この期初計画の達成に向けて努力してまいりたいと考えています。

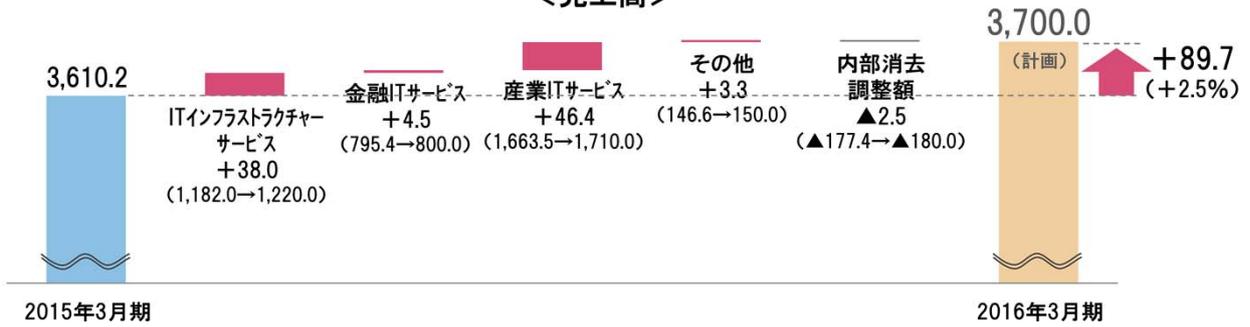
・最後に、決算説明資料に記載はありませんが、期初に申し上げましたグループの統合再編に関する検討およびデータセンター事業の見直しに関する検討については、それぞれ鋭意進めているところです。但し、まだ引き続き検討中というステータスですので、内容に関して本日までご説明することができないことはどうぞご理解ください。

・以上で、説明を終了させていただきます。

2016年3月期 売上高・営業利益増減分析(予想)

(単位:億円)

<売上高>



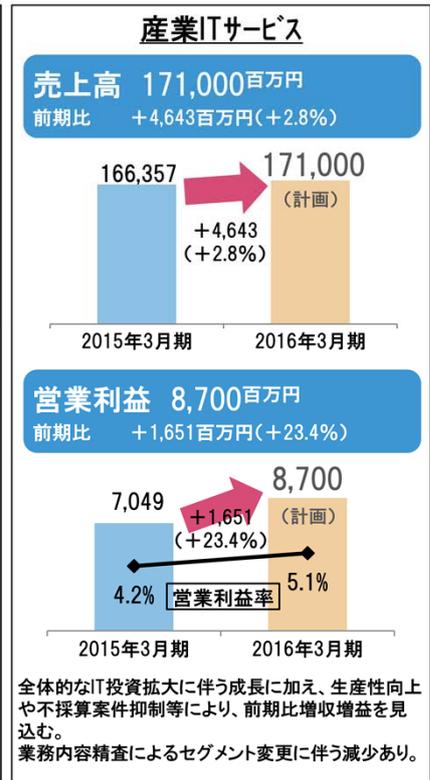
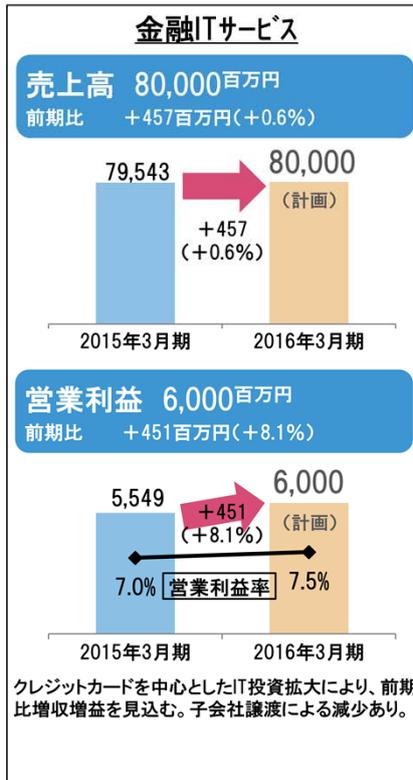
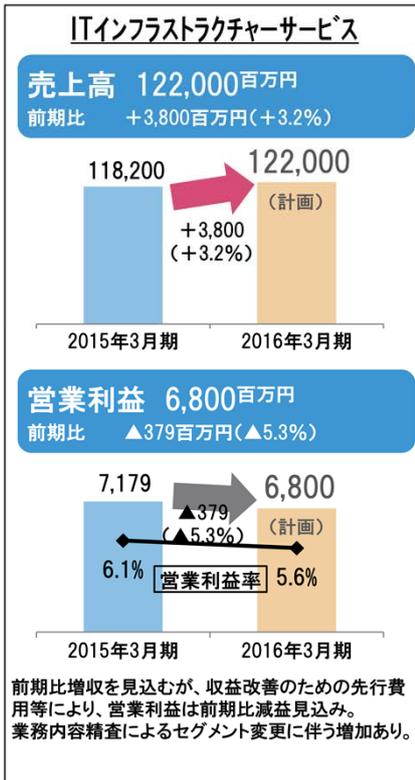
<営業利益>



(説明省略)

2016年3月期 主要セグメント別損益状況(予想)

(単位:百万円)



Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

12

(説明省略)

2016年3月期第1四半期 業績概要

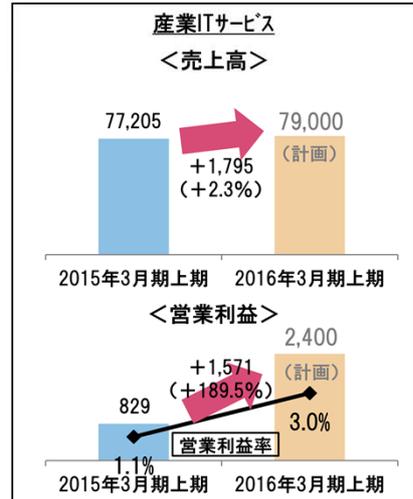
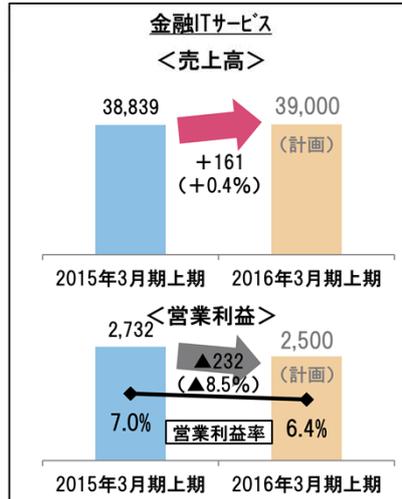
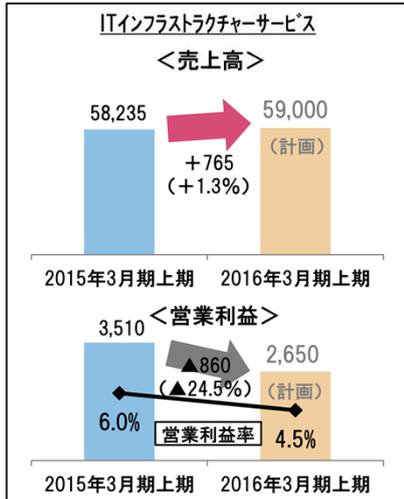
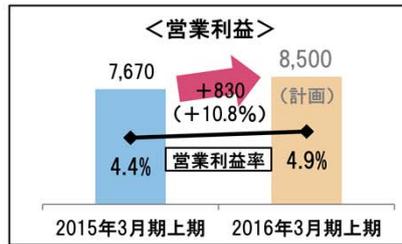
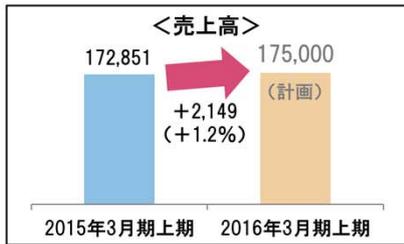
2016年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2016年3月期上期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)

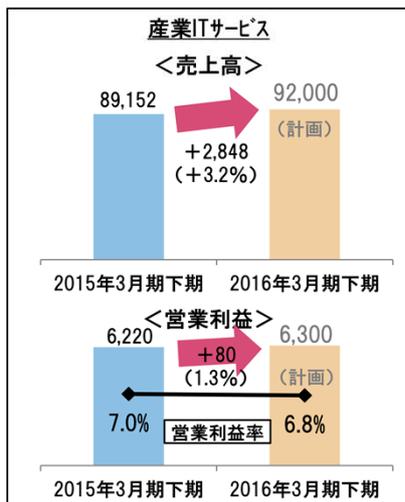
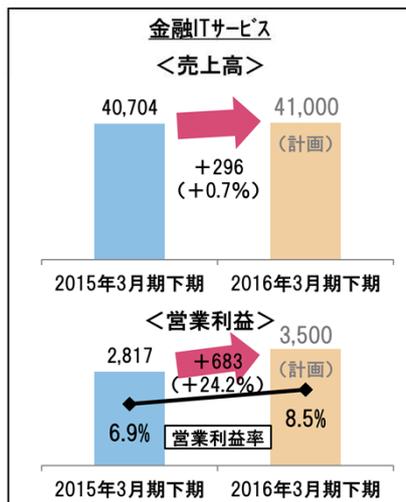
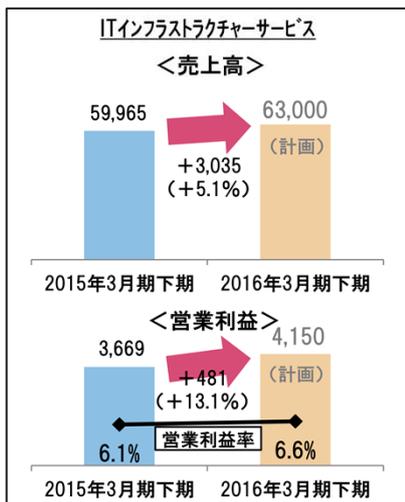
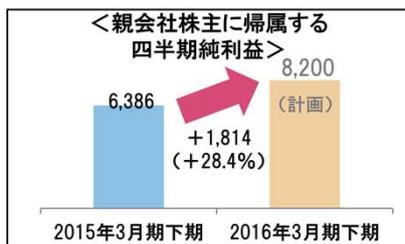
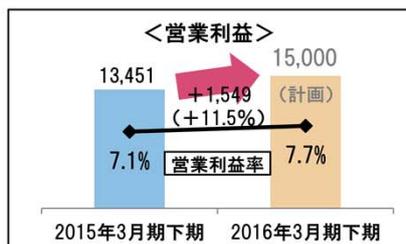
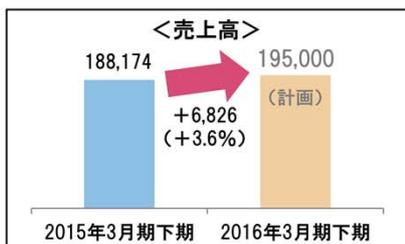
(単位:百万円)



(説明省略)

2016年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)

(単位:百万円)



Copyright © 2015 IT Holdings Corporation All rights reserved.

下期計画は通期計画から上期計画を控除したものです。
各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

(説明省略)

2016年3月期第1四半期 ITHDグループ プレスリリース/お知らせ

発表日付	タイトル
2015年4月3日	クオリカ、東大との産学連携で林業向け『造材丸太属性情報収集システム』を開発
2015年4月6日	クオリカとCA Technologies、サービス仮想化分野で提携
2015年4月10日	TISとSRA OSSが、共同開発した『PostgreSQL monitoring template for Zabbix』の新バージョンを公開
2015年4月16日	TIS、SaaS型EDI サービス『TIS EDI Ondemand Service by ACMS』に「HULFT-WebConnect」対応の新メニューを追加
2015年4月21日	TIS、「WARP Dynamite AWARD 2015」でSales Winner of the yearを受賞
2015年4月23日	TIS、「Teradata Partner Award 2015」で「Appliance Award」を受賞
2015年4月27日	TIS、「SuperStream Partner Award 2015」でCertified Consultant Awardを受賞
2015年5月1日	建設業界向けクラウド型システムサービス事業の新会社へ出資(インテック)
2015年5月7日	インテック クラウド型ファイル共有サービス「SO-SOLA」とココロ デジタルノート「CamiApp S」を連携した新サービスを開始
2015年5月8日	インテック、米国シリコンバレーに現地法人設立
2015年5月11日	インテックとスマセイ情報システムが、『皆伝！ &EINS/SPS導入パック』を販売開始
2015年5月12日	アグレックス、キャンペーン支援総合サービスの株式会社興伸を子会社化
2015年5月13日	情報漏えい対策のためのログ管理をより身近にする統合ログ管理「LogRevi 無償版」をリリース(インテック)
2015年5月19日	ヤフーの財務会計システムを「Oracle E-Business Suite」で短期刷新(TIS)
2015年5月25日	TISとあくしゅが、様々なクラウド間の差異を吸収してシステムの可搬性を高める新技術の開発を開始
2015年5月26日	統合ログ管理「LogRevi」のオプションとして「SKYSEA Client View Receiver」をリリース(インテック)
2015年6月1日	インテック「EINS/VDC 東京第2DC」を東京都三鷹市に開設
2015年6月1日	アグレックス、ITユーザーに対するサポートサービスを提供する株式会社マイクロメイツを子会社化新
2015年6月4日	中南信用金庫が、TISの与信管理ソリューション『SCORE LINK』を採用
2015年6月4日	位置情報プラットフォーム「i-LOP」 Location Business Japan 2015 Best of Show Award ファイナリストに選出(インテック)
2015年6月8日	ネクスウェイ、デジタルサイネージ専門サイト『SIPO』を開設
2015年6月9日	ネクスウェイ、業界最安値水準ビジネスシーン挨拶状発送サービス『日本の挨拶状』提供開始
2015年6月11日	INTEROP TOKYO 2015のBest of Show Award SDI部門の準グランプリをTISの『CloudConductor』が受賞
2015年6月15日	TIS、米国のSimplyTapp社、タイのPromptNow社とNFCの新技術「HCE」をベースとしたサービス提供に向けて協業
2015年6月16日	ITHDグループ、アグレックスにBPO事業の集約を開始
2015年6月17日	TIS、『SaaS型性能監視サービス』の提供を開始
2015年6月22日	TIS、大嘉産業の販売管理システムを構築
2015年6月25日	インドネシアのシステムインテグレータPT.Bisnis Integrasi Globalと業務提携(インテック)
2015年6月26日	TIS、「Intra-mart Award 2015」で「Superior Partner Award」を受賞

(説明省略)



IT HOLDINGS

Go Beyond

(ご注意事項)

- ・本資料ではITホールディングスを略称名(ITHD)にて記載しています。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、ITHDグループ(ITHDおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間(3カ月)の数値は累計期間の差引により算出しています。

(説明省略)